





もともとの情報？ <b>#60秒情報モラル</b> キーワード #一次情報と二次情報 #情報収集 #情報の信頼性 #情報の伝わり方 この動画の活用にあたって メディアや知人から聞いたことを別の誰かに伝えることは、身近な情報発信と言えます。今はSNSの普及により、誰でも簡単にインターネット上でも情報発信を行うことができます。誰もが発信者となり得ることを自覚し、受け手の不利益とならないよう正確に情報発信することが大切です。 正確な情報発信には、正確な情報収集が不可欠です。世の中を飛び交う情報の中には、誤りや嘘、偏りのあるものも含まれています。そのため、情報源を確認したり、複数の情報を比較したりすることを日頃から意識することが必要です。 動画はこちら 	動画の流れ 	気付かせたいことのみ安 ★(小1~3)      ★★(小4~6)      ★★★(中1~高3)			□ 補足・解説 ◆ StepUp アクティビティ
		SNSにAさんが投稿した写真を主人公が目にする。写真には、公園の桜が咲いている様子が写っている。 明日Bさんにも教えよう	□ 二次情報は、発信者の解釈や意図が含まれています。この動画の場合、	□ 「#開花」ということは、咲き始めた様子の写真と考えられる。	□ 本文と写真からは、桜が相当咲いている印象を受けるかもしれない。 □ ズームアップされた写真のため、周辺の様子は分からない。
	翌日、主人公はBさんに、公園の桜が「けっこう咲いたよ」と伝える。 公園の桜 けっこう咲いたよ！	□ この動画では、Aさんの目に映った実際の景色が一次情報、SNSに投稿された文章や写真が二次情報と考えられます。	□ 「けっこう」は、曖昧な表現である。 □ 「咲き始め」ということが伝わっていない。	□ SNSの公開範囲によっては、主人公はAさんの投稿を勝手にBさんに教えていることになる。	□ 「情報」は、本人の直接体験や調査・実験などによって得られる「一次情報」と、他者を介して得られる「二次情報」に分けられます。例えばこの動画の「公園の桜」についての情報は、次の①~④のように分けて考えられます。 <一次情報> ①Aさんの目に映った実際の景色 <二次情報> ②主人公が見たSNSの投稿 ・「キレー!」というAさんの感想 ・ズームアップされた桜の写真 ③Bさんが主人公から聞いた話 ・「けっこう咲いたよ」 ④CさんがBさんから聞いた話 ・「満開らしいよ」
	Bさんは、公園で桜が咲き誇っている様子を想像する。 Bさん		□ Bさんは、桜が満開になっている様子を勝手に想像してしまっている。		このように二次情報では、発信者の伝え方や、受信者の解釈によって、情報の正確性が失われたり、食い違いが生じたりすることがあります。
	BさんはCさんに、公園の桜が「満開らしい」と伝える。Cさんは、明日その公園に遊びに行こうと提案する。 Cさん      公園の桜が満開らしいよ！      Bさん	□ Bさんは、「けっこう咲いている」を「満開」と捉えてCさんに伝えている。	□ Bさんは、自分が想像したことをあたかも事実のようにCさんに伝えている。		そのため、「『いつ』『誰が』発信したのか」、「他に同様の情報は発信されていないか」などを確認することで、情報を見極める必要があります。これは、テレビやインターネットなどのメディアから情報を受け取る際にも大切な心構えです。
	翌日、BさんとCさんが公園に来てみるが、桜はところどころ咲いている程度だった。 	□ Bさんが想像した様子とは、印象が異なっている。	□ Cさんは「満開」と聞かされていたが、実際は違っていた。	□ 主人公も、Aさんの投稿を誤解していたかもしれない。	
	画面が、一部の枝をズームアップしていく。すると…。 	□ Aさんが投稿した写真は、咲いているところだけ拡大したものであった。	□ 写真に写っている様子だけでは判断できないこともある。	□ SNSなどの情報には投稿した人の意図が含まれることがあるため、もともとの情報とは意味や印象が異なる場合がある。	◆ 情報を見極めるためにはどんなことを意識すると良いか考えよう。 ◆ 登場人物(主人公、A~Cさん)は、それぞれどうすれば良かったのか考えよう。